



1月の末から行者にんにくの出荷が始まりました。行者にんにくは、町の重点振興作物に指定されている作物で、令和2年度の作付面積は4.4haあり、今後生産量の増加が期待されています。出荷は4月上旬まで行われる予定です。

# 漢字一文字に決意を込めて 舟形中学校で「立志式」



## 広報 ふながた 2

### もくじ ~Contents~

- p 3 …… ふなびく
- p 4 …… ~ふながたのデジタルファースト~ まずは教育から
- p 8 …… 令和2年度 舟形町教育功労者表彰
- p 9 …… 山形県知事選挙結果・「排雪作業」についてお知らせ
- p10 …… まちのわだい
- p12 …… ふれあい広場
  - ・まちづくり審議委員募集
  - ・申告・納付期限が「延長」されました
  - ・令和3年度舟形町学童保育所利用申請受付について
- p14 …… 青いシグナル、ぼっぼ舎通信、食べる力は生きる力、カメラアングル、戸籍の窓
- p16 …… 「ありがとう」の<sup>おも</sup>想いをのせて ~舟形町のふるさと納税~

1月29日、舟形中学校で「立志式」が行われました。これは元服にちなんで数え年の15歳を祝うものです。元服は江戸時代の成人式でもあり、立春に行われたことから、毎年この時期に行われています。

この日は、2年生42名一人ひとりが、保護者が見守る中、漢字一文字に将来への決意や目標を込めて発表しました。「未」の字を書いた森 大誠さん(舟形第4)は、「ちりも積もれば山となるように、日々努力を積み重ね、良い高校、大学に進学し、自分の未来を切り拓きたいと思います。そして、夢に描いたJAXAの一員になれるようがんばります。」と将来の決意を発表しました。

発表した子どもたちは、また一歩大人になったとともに、4月から舟形中学校を引く張る最高学年としての自覚も芽生えたようでした。

### 町長コラム

#### 「雪」

雪は音読みで「セツ」、訓読みで「ユキ」のほかに、「スス、ソソ」という読み方があります。「雪ぐ」は「すすぐ」で、洗い清めるという意味があるのだそうです。例えば雪の字が入った熟語「雪辱」は、恥を雪(そ)ぐで、以前受けた恥を仕返すことによって消し去るという意味だそうです。

舟形町の今年の雪は、西又地区で1月11日2m50cmを記録、一旦、28日には1m59cmまで沈みましたが、再び2月3日に2m57cmと最大積雪深を更新し、16日に2m00cmまで再度沈みまして、もう終わりかなと思っていたら、18日に2m71cmと最大積雪深を更新しました。最大積雪深2m50cm以上のピークが3回もあるのは正に異常で、排雪の経費なども3倍かかってしまいました。町民の皆さまも、農地などは運搬しない融雪方法にご理解を賜り、排雪経費の削減にご協力をよろしく願います。

これほどの豪雪となったのですから、ぜひとも「雪」の力で、新型コロナウイルス感染症を、雪いで(洗い清めて)欲しいものです。

森 富広

